

グリーンシート市場と資金調達

中小・中堅企業における資金調達が、金融機関からの借入を中心とした間接金融から、証券市場を通じて直接、資金調達する方向へシフトしつつあります。その証券市場もジャスダック・マザーズ・ヘラクレスに続いて「グリーンシート市場」が注目されています。

グリーンシート市場とは？

- ・ 日本証券業協会が設置運営する、未上場株式のための取引制度です。
- ・ 証券会社が登録銘柄の売り気配・買い気配といった時価を常に提示しています。
- ・ 一定レベル以上のディスクロージャー（企業情報の開示）ができることが唯一の条件です。
- ・ **3月末現在68銘柄**、過去2年間で28社が**銘柄指定**を受けています。

<グリーンシート市場と他市場との比較>

	グリーンシート市場	ジャスダック	東証マザーズ	ヘラクレス
登録時の時価総額	なし	10億円以上		50億円以上
利益基準	なし	基準なし		7,500万円以上
純資産基準	なし	基準なし		4億円以上
その他の財務基準	なし		売上高	浮動株など一定基準
必要会計監査期間	1期	2期		
監査のレベル	商法監査・適正意見で可	商法監査・証券取引法監査で適正意見		
主な資金調達額	数千万～1億未満	数億円単位		
株主数	基準なし	300人以上		
対象とする投資家	拡大縁故増資が主体	個人投資家を含めた幅広い層		

各取引所のベンチャー向市場のみを調査対象。

各市場の特徴：グリーンシート=エマージング銘柄 ジャスダック=第2号基準 ヘラクレス=グロス基準

拡大縁故増資とは？

不特定多数の投資家に株式の募集・売出行うのではなく、**銘柄指定**予定企業をよく知っている企業・個人から出資を募ることをいいます。

募集対象となるのは、通常、企業の協力先・役員・知人などです。

<メリット>

- ・ 店頭市場などワンランク上の市場へ上がる練習期間となります。**銘柄指定**準備の過程で、内部組織・開示体制作りや商法に準拠した経営へと移行することができます。
- ・ 信用度増大により金融機関からの借入条件の改善が見込まれます。
- ・ メディアで報道され、知名度・社会的信用の向上が期待されます。また、優秀な人材を獲得できる可能性が高まります。
- ・ ストックオプションの付与や社員持株会の設置により、従業員のモチベーションの向上に役立ちます。

<デメリット>

- ・ 監査の実施・**銘柄指定**のためのコンサルティング料金など新たなコストが発生します。
- ・ 第三者が株主となるため、同族会社と比べて、経営への意志決定等の自由度が低くなります。

お見逃しなく！

- ・ **グリーンシートへの銘柄指定・取引所への上場は**、資金調達という直接の目的に加えて、プライベートカンパニーからパブリックカンパニーへの移行を考える契機です
- ・ 社長から次世代への事業承継・相続税納税などをあわせて検討することで、多くのプライベートカンパニーが抱える問題点を解決することができます。
- ・ 自社のビジネスモデルの再構築や、現状の経営資源・強みがどこにあり、今後どのようにビジネスを展開していくかを考えることが必要です。